

科目名	美術表現 I				担当	吉澤 俊		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年前期	実務経験	小中高特教諭 経験有	
必修	—				ナバリング	Y3703	DPとの関連	3・4
授業概要	金属・土粘土等の様々な素材と出会い、手を使いながら自分なりに表現する経験を重ねることを通して、表現の楽しさや意味を再認識する。未来の保育者として必要となる「造形表現に対する知識・理解」を深めるだけでなく、まず自分自身が「生涯にわたり美術・造形表現を愛好」できることを目指す。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・表現することが苦手でも自分なりの表現を堂々とできるようになる ・自分なりの方法で作品等の研究成果を発表する ・美術・造形活動の楽しさや意味を再認識できるようになる ・様々な造形表現に対しての知識・理解を深める 							
授業計画	回	内容						
	1	授業ガイダンス	活動の見通しをもつ。様々な造形表現を知る					
	2	ピューター(錫) 鋳造①	金属による造形表現について学ぶ デザイン					
	3		②	制作 (紙による型, またはシリコン型)				
	4		③	制作 鋳造				
	5		④	磨き 仕上げ				
	6	発表準備	作品の展示に向けた準備					
	7	陶芸基礎	①	陶磁器について学ぶ 保育現場での粘土活用の方法を知る				
	8		②	陶器作り ろくろ作り基本				
	9		③	同上				
	10		④	制作 仕上げ(削り)				
	11	様々な素材経験	①	様々な造形素材を学ぶ 保育現場での活用方法を知る				
	12		②	デザイン				
	13		③	制作				
	14		④	制作 仕上げ				
15	焼成	まとめ	焼成 前期のまとめと後期の方向					
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・試行を重ねながら自分なりの方法で表現できたか ・工夫しながら作品等の成果をまとめ発表できたか ・造形表現に関する知識・理解を深めることができたか 							
評価方法	授業態度 10% 作品制作・ドキュメンテーションの内容 70% 発表技術 20%							
フィードバック 方法	ドキュメンテーションをもとにした会話 展示発表時の対話型鑑賞							
アクティブ ラーニング	制作 ドキュメンテーションによる共有活動 展示活動(企画・運営)							
材料費	材料費として 800 円程度必要となる							
教科書	特になし							
参考書	テーマに沿う形で、必要に応じて提示する							
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・造形表現の楽しさを「金属」「土」等の様々な素材との出会いから経験する。上手下手は全く関係ない。苦手でも自分なりに楽しく表現したいという意欲があれば大丈夫。 ・様々な素材経験をするために基本的には「美術表現Ⅱ」と連続した受講が望ましい。 							
授業外学習	「ろくろ」による陶芸は、授業内で基本的なやり方を学ぶが、電動ろくろの数が限られているため、受講者数によっては授業外での個々の自主制作活動に取り組む							
オフィスアワー	学生支援課の掲示板に掲示する							